

科目	設計製図 (Design and Drawing)		
担当教員	倉田 克彦 非常勤講師		
対象学年等	都市工学科・5年・前期・必修・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	A4-1(100%)	JABEE基準1(1)	(d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	専門基礎科目において修得した知識を活用して、港湾構造物の設計及び製図を行う。授業の概要と与えられた設計条件の下で、要求された機能・性能を持つ構造物の設計を行い、概略の費用比較によって合理的で且つ相対的に経済的な断面を有する構造物を選択する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-1】外力を算定できる。		外力計算の正確さを評価する。
2	【A4-1】安定計算ができる。		安定計算の正確さを評価する。
3	【A4-1】経済性比較ができる。		断面比較の適切さを評価する。
4	【A4-1】設計手順の理解と設計(安定)計算書、各種図面の作成ができる		設計(安定)計算書と各種図面の正確さによって、設計手順の理解の程度を評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、レポート100%として評価する。提出された設計計算書と各種図面、作成過程における取組みの結果で評価し、途中における到達目標(1~3)のそれぞれに対して、10段階評価の4以上、それらの平均値が5以上であって、提出物の評価が6以上であることを合格の要件とする。		
テキスト	プリント		
参考書	海洋・港湾構造物 新土木設計の要点(6) : 鹿島出版会 港湾の施設の技術上の基準・同解説 : 日本港湾協会 港湾構造物設計事例集(平成19年改訂版)、沿岸技術研究センター		
関連科目	環境水工学II, 構造力学, 土質力学, コンクリート工学, 鉄筋コンクリート工学		
履修上の注意事項	専門基礎科目において修得した知識の活用が求められるので、知識を発揮できる能力の涵養に努めて貰いたい。		

